



▲ 約1時間にわたり質疑を行った川合議員【参議院第43委員会室】

約1時間にわたり質疑を行った川合議員【参議院第43委員会室】  
性を訴えました。

3月17日厚生労働委員会に所属して初めて質問に立ちました。  
派遣切り・雇止めや内定取り消しなど悪化の一途を辿る雇用情勢への対応や、雇用保険法改正案を巡る問題点について舛添厚生労働大臣と議論を闘わせました。  
これまで自公政権は、本来最優先に整備されるべき労働者の福祉や雇用のセーフティネットを全く無視したまま、働き方（労働法制）のみ野放図に規制緩和しました。このことが、企業による安易な首切りや内定取り消しが横行する社会を創ってしまった。派遣社員を中心に1006万人にも及ぶ労働者が雇用保険のセーフティネットから除外されてしまっている現状を放置してきた政府の無責任な姿勢を追及するとともに雇用セーフティネットの早急な整備の必要性を訴えました。



## 雇用・労働問題について 舛添厚生労働大臣と論戦

参議院厚生労働委員会  
「大臣所信に対する一般質疑」



◇ 参議院事務総長に法案提出【参議院議長室】



◇ 法案提出後の記者会見【参議院本館第5控室】

去る3月26日、民主党議員立法の発議者のひとりとして「介護労働者の人材確保に関する特別措置法案」を参議院に提出しました。  
介護の現場は、これまで2度にわたる介護報酬の切り下げ（マイナス4・7%）により労働条件の悪化と人材不足が深刻化しています。結婚や育児といった生活設計さえままならない過酷な労働条件ゆえに人材の流出も止まらず、雇用情勢が悪化している現在でさえ人材不足が解消されないという危機的な状況におかれています。  
こうした現状を踏まえて本法案では、介護報酬を7%加算することで厳しい環境下におかれている介護労働者の処遇・賃金を世間水準にまで引上げるとともに人材難に陥っている介護現場に優秀な労働力を誘導することを目的としています。  
残念ながら与党の抵抗に遭って現時点で審議入りの目処は立っていませんが、法案成立に向けて粘り強く闘います。

## 介護労働者賃金引上げ 法案（仮称）を発議



日本赤十字社医療センター



日本赤十字社医療センター

4月7日参議院厚生労働委員会は、東京都渋谷区にある「渋谷公共職業安定所（ハローワーク渋谷）」と、「日本赤十字社医療センター」の現場視察を実施しました。  
今回の視察の目的は、「雇用対策」と「周産期医療」の実情調査でした。ハローワーク渋谷では東京労働局長・渋谷職業安定所所長をはじめスタッフの皆様、日本赤十字社医療センターでは、院長・産科部長をはじめ看護師の皆様にご対応いただきました。  
それぞれ施設の現状の概要説明を受け、施設内の視察、意見交換会等が行われました。国会内での議論だけでは把握できないことも現場視察を行い、現場のご意見等を見聞きすることで、新たに多くのことを知ることができそうです。  
こうした貴重な体験も今後の活動に生かしていきたいと思っております。

## 活動写真館 活動記録 厚生労働委員会メンバー 都内視察



大日本住友製薬労働組合



王子製袋労働組合



オリエンタルランド・フレンドシップ・ソサエティ



大阪ガス労働組合



ダイエーグループ総連



コロナワイドグループ労連



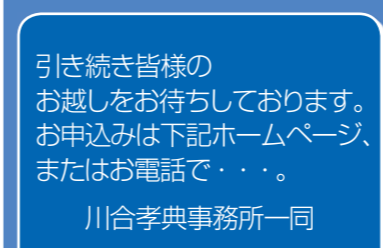
UIZ男女平等参画フォーラム



イオングループ労連中部



イオングループ労連関東



コメリグループユニオン連合会



UIZ和歌山・オークワ労働組合

引き続き皆様のお越しをお待ちしております。お申込みは下記ホームページ、またはお電話で・・・  
川合孝典事務所一同

## 国会見学

4月に入り一気に気温も上昇し、まさに春本番を迎えました。残念ながら国会周辺の桜はすでに散ってしまいました。新緑が眩しい今日この頃外出するには最高の陽気です。  
今回も多くの皆様が国会見学にお越しくださいました。同僚、ご家族、ご友人をお誘いいただき、ぜひ国会へお越し下さい！



## 同志「柳沢みつよし」の目標

政府与党は大規模な追加経済対策を表明しました。しかし15兆円を超える国費を費やすからには、一つ一つしっかりと内容について、審議していかなければなりません。今の日本にはムダに遣えるお金など1円としてないからです。国と地方を合わせた負債は一千兆円を超え、医療や福祉・介護などの課題は置き去りにされたまま、もはや破綻寸前のところまで来ています。  
少子高齢化による人口減少の問題が深刻さを増すなか、今回の政府の政策に子育て応援特別手当があります。対象となるお子さんには年齢制限（3〜5歳まで）があり、月3千円を平成21年度に限り支給するというものです。いったい何を応援しようとしているのか不透明と言わざるを得ません。50年後には9千万人を下回るといわれる日本の人口事情、安心して子供を産み・育てることができず国でなければなりません。政治は日本の将来を支える子供たちに何を残せるのでしょうか。  
無作為に積み上げた多額の借金を負担させるようなことは絶対あってはならないのです。

## ホームページのご案内

柳沢みつよし  <http://yanagisawa-m.jp>

川合孝典ホームページ「月刊参議院レポート(カラー版)」を掲載しています。

<http://www.kawai-takanori.jp>

「月刊参議院レポート2009年4月号」

【発行日】：2009年4月22日 【発行】：民主党参議院比例区第4総支部  
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館330号室  
TEL：03-3508-8330 FAX：03-5512-2330 (川合孝典 国会事務所)